

今後の活動に向けて



技術士包装物流会
副会長 住本 充弘

技術士包装物流会が創立 50 周年を迎えます。2017 年は、私が包装業界に入って 50 年目にあたります。50 年前の日本の包装と今の包装を比べると素材、加工法、包装機械、包装設計の考え方、社会環境など多くの面で随分と変化してきました。

多くの国を訪問し、多くの文化、習慣、その国の包装を見て「包装はその国の文化を表している」と感じました。実際に現地に行くと、なぜその包装になっているかが、よく理解出来ました。

欧米の包装の動きは活発です。“Challenge & Innovation”が定番のキーワードでそれを実行しています。また、開発途上国の国々も、新しい包装システムを積極的に導入しています。人々が裕福になり、インターネットなどで世界の状況が分かると、より良いものを求め始めています。最新の包装を受け入れる環境が整ってきていると思います。

COP 21, Sustainable Package, Renewable Resource, Internet、携帯電話の普及など過去には想像できなかったことが起こり、包装に大きな影響を与えてきています。

日本は、素晴らしい包装技術と関連する技術を持っています。これをより有効に活用し世界の包装に貢献することが必要と思います。包装が活躍でき、売れる商品で企業業績に貢献できる場面は多いと思います。多くの包装のプロは、「Challenge & Innovation」を認識していると思います。「Game-Changer」になれるチャンスがあると思います。私は、今後も包装業界で活動を続けるつもりです。